

### 新潟県特別栽培農産物 認証申請書

令和 6 年 7 月 1 日

上越地域振興局農林振興部長 様

申請者 氏名(団体名) **新潟 一郎**  
 (代表者氏名)  
 住所(所在地) **新潟市中央区新光町4-1**  
 電話番号 **025-000-0000**  
 メールアドレス **000@000.00**  
 (FAX番号) **025-000-0000**

新潟県特別栽培農産物認証要綱第6第1項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

なお、同要綱第4の(2)に規定する栽培方法等の情報開示に同意するとともに、認証を受けるに当たっては、同要綱及び新潟県特別栽培農産物認証要領並びに農薬取締法などの関係法令を遵守します。

また、同要綱第4の(5)に規定する暴力団又は暴力団員ではなく、また、これらの者と社会的に非難されるような関係はないことを誓約します。

#### 記

#### 1 申請に係る関係者

	氏名	住所	電話番号
栽培責任者	<b>長岡 次郎</b>	<b>新潟市 × × ×</b>	<b>025-***-****</b>
確認責任者	<b>上越 三郎</b>	<b>新潟市 × × ×</b>	<b>025-***-****</b>
精米責任者注1)	<b>三条 四郎</b>	<b>新潟市 × × ×</b>	<b>025-***-****</b>
精米確認者注1)	<b>柏崎 五郎</b>	<b>新潟市 × × ×</b>	<b>025-***-****</b>

#### 2 申請する農産物等の概要

農産物名	構成生産者名 注2)	構成生産者住所 注2)	面積(a) (ほ場数)	出荷予定量 (kg) 注3)	マークの 規格・数量 (枚) 注4)	現有マークの 規格・数量 (枚)
<b>米</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>230</b>	玄米 <b>4,980</b>	大 <b>166</b>	大 <b>30</b>
				精米 <b>5,850</b>	中 <b>0</b>	中 <b>0</b>
				他 <b>0</b>	小 <b>1,170</b>	小 <b>100</b>
				<b>( 5 )</b>	計 <b>1,336</b>	計 <b>130</b>

注 1) ~~精米責任者及び精米確認者は、申請が精米を認証対象とする時のみ記入する。~~

2) ~~構成生産者名及び構成生産者住所は、申請が団体の時のみ記入する。  
行が不足する場合は、適宜行を追加すること。~~

3) ~~「出荷予定量」欄は、米においては「玄米」「精米」の別に記入する。~~

4) ~~「マークの規格・数量」欄は、現有認証マークの数量にかかわらず、使用を希望する数量を記載する。  
マークの使用予定がない場合は、この計を0とすること。~~

- 添付書類 ・ 確認責任者チェック表(別紙1) ・ 精米確認者チェック表(別紙2) ・ ほ場一覧(別紙3)  
 ・ 栽培管理記録(計画)(別紙4) ・ 出荷記録(計画)(別紙5) ・ とう精記録(計画)(別紙6)  
 ・ 使用する化学肥料について化学合成由来の窒素量が確認できる書類

## 新潟県特別栽培農産物 精米認証(追加)申請書

令和 6 年 7 月 1 日

上越地域振興局農林振興部長 様

精米申請者 氏名(団体名) **新潟 一郎**  
(代表者氏名)  
住所(所在地) **新潟市中央区新光町4-1**  
電話番号 **025-000-0000**  
メールアドレス **000@000.00**  
(FAX番号) **025-000-0000**

新潟県特別栽培農産物認証要綱第6第2項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。  
なお、認証を受けるに当たっては、同要綱及び新潟県特別栽培農産物認証要領を遵守します。  
また、同要綱第4の(5)に規定する暴力団又は暴力団員ではなく、また、これらの者と社会的に非難されるような関係はないことを誓約します。

## 記

## 1 申請に係る関係者

	氏名	住所	電話番号
精米責任者	<b>三条 四郎</b>	<b>新潟市×××</b>	<b>025-***-****</b>
精米確認者	<b>柏崎 五郎</b>	<b>新潟市×××</b>	<b>025-***-****</b>

## 2 申請する精米等の概要

玄米購入先名 注1)	玄米購入先住所	認証番号	玄米 購入予定量 (kg)	精米 販売予定量 (kg)	マークの 規格・数量 (枚)注2)	現有マークの 規格・数量 (枚)
<b>新発田 六郎</b>	<b>××市×××</b>	<b>○***</b>	<b>6,500</b>	<b>5,850</b>	大 <b>195</b> 中 <b>0</b> 小 <b>0</b>	
					大 中 小	
					大 中 小	
合計			<b>6,500</b>	<b>5,850</b>	大 <b>195</b> 中 <b>0</b> 小 <b>0</b> 計 <b>195</b>	大 <b>10</b> 中 <b>0</b> 小 <b>0</b> 計 <b>10</b>

注 1) 玄米購入先ごとに小計を記入する。

2) 「マークの規格・数量」欄は、現有認証マークの数量にかかわらず、使用を希望する数量を記載する。  
マークの使用予定がない場合は、この計を0とすること。

添付書類 ・ 精米確認者チェック表(別紙2)  
・ 出荷記録(計画)(別紙5)  
・ とう精記録(計画)(別紙6)

## 新潟県特別栽培農産物 認証マーク作成依頼書

令和 6 年 10 月 1 日

株式会社DI Palette 様

認証者 氏名(団体名) **新潟 一郎**  
(代表者氏名)  
住所(所在地) **新潟市中央区新光町4-1**  
電話番号 **025-000-0000**  
携帯電話番 **080-0000-0000**  
メールアドレス **000@000.00**  
(FAX番号) **025-000-0000**

新潟県特別栽培農産物認証要領第12に基づき、認証マークを下記のとおり作成したいので、別紙のとおり認証通知書の写しを添えて申し込みます。

記

(単位:枚数)

申し込み希望枚数				依頼済み枚数 注1)
大	中	小	計	
170	0	1,170	1,340	-

## 【計算方法】

認証枚数 × 1.1 - 現有枚数 = 購入可能枚数 申し込み希望枚数  
中及び小規格については、10枚単位での申し込みとすること。(原則として10枚未満は切り捨て)

## 【参考】

	認証マークの規格			
	大	中	小	計
認証農産物に係る 認証マークの枚数 注2)	170	0	1,170	1,340
× 1.1 (1割増し)	187	0	1,287	1,474
現有する認証マーク の枚数 注3)	0	0	30	30
差引( × 1.1 - ) (購入可能枚数)	187	0	1,257	1,444

- 注 1) 2回目以降の依頼の場合、「依頼済み枚数」欄に、前回までに依頼済みの枚数を記入する。  
2) 認証通知書(「マークの規格・数量」欄)記載の枚数を記入すること。  
3) 認証通知書(「現有マークの規格・数量」欄)記載の枚数又は現時点の現有マーク数を記入する。  
現時点の現有マーク数量を記入した場合は、株式会社DI Paletteが確認のため連絡する場合がある。

## 添付資料

- ・ 認証通知書の写し

## 新潟県特別栽培農産物 認証マーク変更申請書

令和 6 年 12 月 1 日

上越地域振興局農林振興部長 様

認証者 氏名(団体名) 新潟 一郎  
(代表者氏名)

特別栽培農産物認証マークについて、下記のとおり変更申請します。

## 記

認証番号	農産物名	出荷 予定量 (kg) 注1)	出荷単位 注1)	認証マーク枚数			理 由
				認証済枚数 注2)	追加枚数 注3)	変更後枚数	
〇***	米	変更あり 変更前	変更あり 変更前	大 170	-20	150	取引先の意向により、一部の出荷単位を変更したため。
		変更後	30kg 変更後	中 0	0	0	
		変更なし	5kg 変更なし	小 1,170	120	1,290	
		計 1,340	100	1,440			

- 注 1) 出荷予定量及び出荷単位は変更の有無を該当部分( )にチェックする。変更がある場合は、変更前後の数値を記入する。
- 2) 認証済枚数の欄は「新潟県特別栽培農産物 認証通知書」に記載されている枚数を記入する。
- 3) 認証マークの大きさの変更のみの場合は、追加枚数の欄の記入は不要である。

## 新潟県特別栽培農産物認証 実績報告書

令和 7 年 8 月 1 日

上越地域振興局農林振興部長 様

認証者 氏名(団体名) **新潟 一郎**  
(代表者氏名)

新潟県特別栽培農産物認証要綱第14の規定に基づき、下記のとおり実績を報告します。

記

認証番号	農産物名	面積(a) (ほ場数)	出荷量(kg)	マークの 規格・数量(枚)
○***	米	230  ( 5 )	玄米 5,100	大 170
			精米 5,850	中 0
			他 0	小 1,170
				計 1,340

注 1) 「出荷量」欄は、米においては「玄米」「精米」の別に記入する。

## 添付書類

- ・ 確認責任者チェック表(別紙1)
- ・ 精米確認者チェック表(別紙2)
- ・ 栽培管理記録(計画)(別紙4)
- ・ 出荷記録(計画)(別紙5)
- ・ とう精記録(計画)(別紙6)
- ・ 認証マーク使用結果(別紙7)

## 新潟県特別栽培農産物(精米)認証実績報告書

令和 7 年 8 月 1 日

上越地域振興局農林振興部長 様

認証者 氏名(団体名) **新潟 一郎**  
(代表者氏名)

新潟県特別栽培農産物認証要綱第14の規定に基づき、下記のとおり実績を報告します。

## 記

精米 認証番号	玄米 認証番号	玄米購入先名 (認証者名)	玄米購入量(kg)	精米販売量(kg)	マークの 規格・数量(枚)
<b>×××</b>	<b>○****</b>	<b>新発田 六郎</b>	<b>6,500</b>	<b>5,850</b>	大 <b>195</b> 中 <b>0</b> 小 <b>0</b>
					大 中 小
					大 中 小
合計			<b>6,500</b>	<b>5,850</b>	大 <b>195</b> 中 <b>0</b> 小 <b>0</b> 計 <b>195</b>

注 1) 精米認証番号ごとに小計を記入する。

注 2) 玄米の記載欄が不足する場合は、適宜行を追加すること。

## 添付書類

- ・ 精米確認者チェック表(別紙2)
- ・ 出荷記録(計画)(別紙5)
- ・ とう精記録(計画)(別紙6)
- ・ 認証マーク使用結果(別紙7)

新潟県特別栽培農産物 認証後変更承認申請書

令和 7 年 4 月 1 日

上越地域振興局農林振興部長 様

認証者 氏名(団体名) 新潟 一郎  
(代表者氏名)

新潟県特別栽培農産物認証要綱第10の規定に基づき申請します。

記

1 変更内容

変更前	変更後
(認証者) 新潟 一郎	(認証者) 株式会社 新潟農産

2 変更理由

法人化したため。

注 変更後の内容を反映した申請書の添付書類を添付すること。

## 確認責任者チェック表

確認責任者名: 上越 三郎

生産者名	年 度
新潟 一郎	令和 6 年
チェック項目	チェック欄
1 計画作成時(栽培開始前)	
確認責任者は栽培責任者と同一、又は同一経営体内の者でなく、当該地域の農業に精通し、技術的な指導が可能な者であるか	
肥料(化学合成由来の窒素成分を含まないもの)及び節減対象外の農薬を使用する場合、それらを含む栽培計画は適切か	
栽培管理記録(計画)の記載や添付資料に漏れはないか	
化学肥料(化学合成由来の窒素成分を含むもの)使用量の算定根拠は明確か	
農薬は栽培する作物に適用があるか	
農薬の使用目的及び成分名は正しく記載されているか	
化学肥料(化学合成由来の窒素成分を含むもの)の使用量及び節減対象農薬の使用回数は県認証基準以下か	
特別栽培農産物を生産する場合は、一般栽培のほ場と区別することが可能か	
確認責任者による栽培管理の調査が随時可能か	
出荷計画は収穫予定量に応じて作成されているか	
2 申請時	
ほ場には看板が設置されていたか	
作業記録について、生産者の記帳等により確認したか	
肥料及び農薬の使用状況について、生産者の記帳・伝票等により確認したか	
計画作成時の栽培管理記録(計画)から肥料及び農薬の使用状況に変更はないか	
変更があった場合、栽培管理記録(計画)に反映されているか	
認証農産物に表示する予定の表示票の記載内容は適切か	
認証マークは適切に管理されているか(現有マークがある場合)	
認証マークの必要見込み数は適切か	
3 実績報告時	
申請時の栽培管理記録(計画)から肥料及び農薬の使用状況に変更はないか	
変更があった場合、適切な手続がとられているか	
出荷記録(計画)の内容について、生産者の記帳等により確認したか	
認証農産物に表示した表示票の記載内容は適切か	
認証マークは適切に管理されているか	

- 注 1) 団体に申請する場合は、このチェック表を生産者ごとに作成すること。  
 2) チェック項目に従って確認し、是正が必要な場合は速やかに生産者等に対し改善指導を行うこと。  
 3) このチェック表の原本は、確認責任者が保管するものとし、写しを添付書類として県に提出する。  
 4) 申請時、実績報告時にそれぞれの段階まで確認したものを提出する。

## 精米確認者チェック表

精米確認者名： 柏崎 五郎

精米責任者名	年 度
三條 四郎	令和 6 年

チェック項目	チェック欄
1 申請時	
精米確認者は精米責任者と同一でなく、米穀に関し一定の知見を有し、必要な指導が可能な者であるか	
とう精記録(計画)は認証米の収穫予定量又は出荷予定量に合っているか	
とう精施設は認証米とそれ以外の米について明確に区分した管理が可能か	
精米確認者による調査は随時可能か	
認証米に表示する予定の表示票の記載内容は適切か	
認証マークは適切に管理されているか(現有マークがある場合)	
認証マークの必要見込み数は適切か	
2 実績報告時	
とう精施設の管理は適正に行われていたか	
とう精記録(計画)は出荷記録・生産者の記帳等と整合しているか	
認証農産物に表示した表示票の記載内容は適切か	
認証マークは適切に管理されているか	

- 注 1) チェック項目に従って確認し、是正が必要な場合は速やかに精米責任者等に対し改善指導を行うこと。  
2) このチェック表の原本は、確認責任者が保管するものとし、写しを添付書類として県に提出する。  
3) 申請時、実績報告時にそれぞれの段階まで確認したものを提出する。

## ほ場一覧

生産者名 新潟 一郎

ほ場 番号	所在地(地番まで記載)	ほ場面積(a)	備考(品種等)
1	市 -1	50	コシヒカリBL
2	市 -2	30	コシヒカリBL
3	市 -3	50	コシヒカリBL
4	市 x x	50	コシヒカリBL
5	市	50	コシヒカリBL
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
合計		230	

注 1) 団体で申請する場合は、生産者ごとに作成すること。  
 2) 行が不足する場合は、適宜行を追加すること。

別紙4

令和 6 年

栽培管理記録(計画)

申請者 住所、電話番号はホームページ公開希望者のみ記載		認証番号				
氏名 新潟 一郎 TEL 025-000-0000		〇***				
住所 新潟市中央区新光町4-1						
生産者氏名	新潟 一郎	栽培責任者氏名	長岡 次郎			
農産物名(品種)[作型]	米 (コシヒカリBL)	ほ場番号	No.1~5			
		栽培面積(a)	230			
作業記録	前作収穫終了	は種	耕起			
	R5年 10月中旬	4月中旬~4月下旬	4月中旬~4月下旬			
		定植(田植え)	収穫			
		5月上旬~5月中旬	9月上旬~9月中旬			
区分	使用目的	化学肥料の商品名 (化学合成由来の窒素成分を含むもの)	使用時期 (月・旬)	使用量 (kg・10a/10a)	うち化学合成由来 窒素量(kg/10a)	
育苗期	床土培土追肥	新潟稚苗苗代配合	4月中旬	0.6	0.024	
	土づくり		月 旬			
本田・本畑	基肥	新潟有機配合50基肥	5月上旬	30.0	1.500	
			月 旬			
	追肥	新潟有機配合50穂肥	7月中旬	10.0	0.600	
		新潟有機配合50穂肥	7月下旬	12.5	0.750	
	新潟有機配合50穂肥	8月上旬	8.0	0.480		
生産地の特別栽培農産物の使用基準を記載			特別栽培農産物使用基準	化学肥料使用量 (窒素成分)		
			3.500 kg/10a以下	3.354 kg/10a		
区分	使用目的	農薬名 (節減対象農薬(成分)を含むもの)	成分名	成分名	使用時期 (月・旬)	節減対象農薬 使用(成分)回数
種子消毒	殺菌	有機農産物JAS規格で使用可能な農薬以外の農薬を記載	成分名	成分名	月 旬	有機農産物JAS規格で使用可能な農薬の有効成分以外の成分(節減対象農薬成分)数を記載
	殺菌		成分名	成分名		
育苗期	殺菌・殺虫	Dr.オリゼリディア箱粒剤	フルピリミン	プロベナゾール	5月上旬	2
					月 旬	
本田・本畑	殺虫	スタークル液剤10	ジノテフラン		8月上旬	1
	除草	カウンスルエナジー1キロ粒剤	トリアファモン	フェンキナトリオン	5月中旬	3
			フェントラザミド			
	除草	ソルネット1キロ粒剤	プレチラクロール			5月上旬
除草	クリンチャー1キロ粒剤	シハ口ホップブチル			6月上旬	1
					月 旬	
生産地の特別栽培農産物の使用基準を記載			特別栽培農産物使用基準		節減対象農薬 使用(成分)回数	
			8 回以下		8 回	
確認責任者氏名	計画時の確認日	申請前現地確認日	収穫終了後の確認日			
上越 三郎	令和 6年 3月 15日	令和 6年 6月 20日	令和 6年 9月 30日			

要綱第6条の申請、第7条の申請後の変更時は記載不要

化学肥料でも合成由来成分がリン酸のみやカリのみなどの場合は記載不要  
堆肥などの化学肥料でないものは記載不要

化学合成由来の窒素成分を含まないため

農薬の有効成分を全て記載

## 令和 6 年 出荷記録(計画)

申請者名(認証者名)
新潟 一郎

内容確認欄	申請前に記載する
令和 6 年 10 月 1 日	
確認責任者名	上越 三郎

### 1 農産物等

農産物名(品種)[作型]	ほ場番号	収穫面積(a)	収穫(予定)量(kg)
米(コシヒカリBL)	No.1 ~ 5	230	11,480

### 2 出荷期間

令和 6 年 10 月 15 日 ~ 令和 7 年 6 月 30 日

### 3 出荷量等

出荷先	出荷形態	出荷単位(kg)	出荷数(個数)	出荷(予定)量(kg)
新潟商店	玄米・精米	30	170	5,100
新潟協同組合	玄米・精米	5	1,170	5,850
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
	玄米・精米			
合計			1,340	玄米 5,100 精米 5,850 他

出荷形態は、米を認証対象とする場合にいずれかを選択する。



## 認証マーク使用結果

認証番号	認証マーク枚数							
	規格	前回認証 の残枚数	今回の 購入枚数	使用枚数 (貼付枚数)	貼付誤り等 破棄枚数 注1)	計 ( + ) 注2)	自己で破棄 する枚数 注3)	残枚数 ( + - - )
〇***	大	0	170	170	0	170	0	0
	中	0	0	0	0	0	0	0
	小	220	1,000	1,170	30	1,200	0	20
	計	220	1,170	1,340	30	1,370	0	20

注 1) 「貼付誤り等破棄枚数」は、貼付誤り、汚れなどにより使用できなかった枚数。

注 2) 「計」の枚数を認証実績報告書の「マークの規格・数量(枚)」欄に記入する。

注 3) 「自己で破棄する枚数」は、次年申請の予定がなく自己の責任において破棄する枚数。

次年に申請の予定がない場合は、0になる